



がん検診の受診率向上に向けた取組について

〔 令和3年4月19日
健康づくり推進課 〕

1 趣旨

本県では、これまでのがん検診啓発特使を活用した取組により、がん検診に関する認知度が8割を超える一方で、検診受診率はすべての部位で全国平均を下回っており、実際の受診行動につながっていない状況である。

このため、令和3年度においては、実際の受診行動につながる個別受診勧奨に特に注力して取り組んでいく。

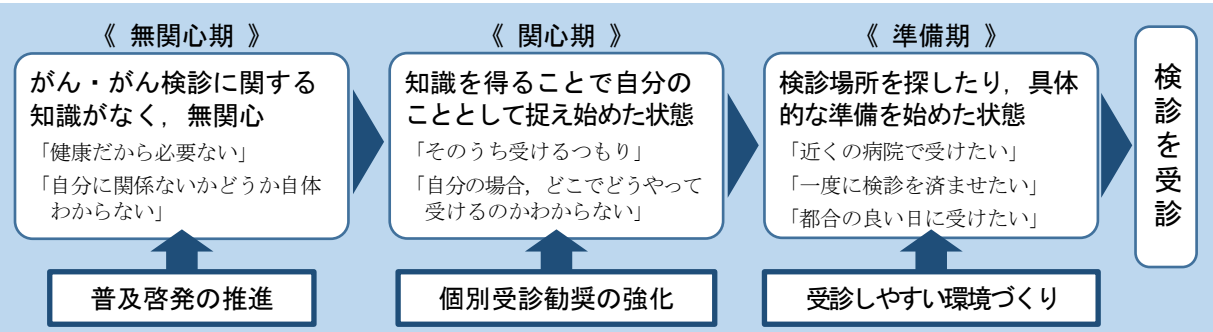
<参考：がん検診の受診率>

区 分		胃がん	肺がん	大腸がん	子宮頸がん	乳がん
令和元年	広島県	41.3 %	45.9 %	41.0 %	43.6 %	43.9 %
	全 国	42.4 %	49.4 %	44.2 %	43.7 %	47.4 %
平成28年	広島県	40.5 %	42.1 %	38.8 %	40.2 %	40.3 %
	全 国	40.9 %	46.2 %	41.4 %	42.4 %	44.9 %

出典：国民生活基礎調査〔厚生労働省〕（3年に1度のサンプル調査）
※ 対象年齢は40～69歳（子宮頸は20～69歳）、胃・肺・大腸は過去1年以内、子宮頸・乳は過去2年以内の受診状況

2 今年度の取組方針

普及啓発の推進	<p>平成24年度から県のがん検診啓発特使にデーモン閣下を起用した取組により、県民の「がん検診」への関心が高まっており、引き続き、特使の認知度の高さを活かした普及啓発に取り組む。</p> <p>取組例 広島県がん検診啓発特使の活用</p>
個別受診勧奨の強化	<p>実際の受診行動につながる取組として、新たに、退職等で職域保険から国民健康保険に切り替わるタイミングでの受診勧奨に試験的に取り組むとともに、職域におけるがん検診実施の促進体制を更に強化する。</p> <p>取組例 国保切り替えのタイミングを利用した受診勧奨 職域がん検診の推進（「がん対策職域アドバイザー」事業所訪問など）</p>
受診しやすい環境づくり	<p>社員のがん検診受診率向上や就労支援、地域への啓発活動等に積極的に取り組む県内企業等との連携を強化し、官民一体となってがん検診を受診しやすい環境づくりを推進する。</p> <p>取組例 Team（チーム）がん対策ひろしまの推進</p>



3 主な取組

(1) 国保切り替えのタイミングを利用した受診勧奨事業

がん検診受診率が著しく低くなる 65～69 歳の層をターゲットに、就業から非就業の（医療保険が切り替わる）タイミングで検診受診の習慣が失われないよう、モデル 4 市（竹原市、府中市、安芸高田市、江田島市）と連携して以下の取組を実施する。

ア 市町国保への切替時におけるがん検診受診勧奨の実施

退職等による職域保険から国民健康保険への切替手続きで窓口を訪れた対象者に対し、勧奨資材を活用した直接的な受診勧奨等を実施する。

イ がん検診未受診者に対する再勧奨の実施

上記アの勧奨を実施した住民のうち、市が実施するがん検診を受診していない者に対し、再勧奨のハガキを郵送して受診を促す。

(2) 職域がん検診推進事業

中小企業における検診受診率の底上げや、健康経営に取り組む企業の拡大を目指して、職域におけるがん検診受診勧奨の取組を更に推進する。

ア 「がん対策職域推進アドバイザー」による事業所訪問の強化

がん対策職域推進アドバイザーを増員し、がん検診を実施していない中小企業等（協会けんぽ加入事業所）への訪問を強化することにより、検診実施を促進する。

イ 「健康経営」を通じたがん検診への働きかけ

商工会議所等の経済団体が実施する研修会等の会合において、がん検診の取組を切り口とした「健康経営」の実践を働きかけることにより、検診実施を促進する。